

事業所名

療育ケアMARINE RAINBOW 諏訪野町

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6 年

9 月

30 日

事業所理念	児童様が楽しんで通所でき、ADLはもちろん、長期的な支援によりIADL（手段的日常生活動作）・QOL（生活の質）の向上を目指していく。また、個性を最大限に尊重した支援を行っていきます。			
支援方針	児童様それぞれの個性を尊重したうえで、環境調整（視覚支援や構造化）や職員の対応方法を統一し、ADL、IADL、QOLに対して最大限に発揮できる支援を行っていきます。			
営業時間	平日：9:30～18:30 学校休業日・祝日：8:30～17:30	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	個の力を十分に発揮した生活（主に身辺自立）を送ることを目的として支援内容を立案・実施していきます。QOL（生活の質）向上の為、ADL（日常生活動作）をはじめ、IADL（手段的日常生活動作）の自立支援を実施していきます。ご利用児童様に応じた視覚支援や構造化にて環境調整を行い、支援方法の統一を徹底することで不安の軽減を図っていきます。長期的な支援により、IADL（まずは簡単な家事動作など）やQOL（代替手段の検討も含め）ライフステージの変化に応じた支援を取り入れ、役割を持った行動ができるよう支援を行っていきます。		
	運動・感覚	機能訓練職員等が監修した小集団療育（主に運動感覚面）や自立支援課題（主に机上での作業）を行い、身体や感覚の特徴に応じて発散や入力を行っていきます。また、未体験や未発達の部分についてモニタリングを行い、必要な活動の提供や環境調整の実施、支援方法の統一を図っていきます。		
	認知・行動	ご利用児童様の個性に合わせて、定期的にミーティングを行い、何に困っているのか、どうしたら一人でできるようになるのか、ご本人の混乱が少なくできるか等を常に考え、児童様それぞれが十分に力を発揮できる環境や手段を支援し、成功体験を通して安心して過ごすことができるよう支援していきます。また、自立心を促して様々なことに対する挑戦する機会の提供していきます。		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションに対する支援として、支援者が様々な活動の中で寄り添いながら気持ちの代弁や感覚入力、個別支援や小集団療育にて語彙数を伸ばせるような支援（絵カードやマッチング、オノマトペ、言葉に関する自立支援課題）を行い、自分の気持ちや物の名前を相手に伝えることを促していきます。また言葉以外の代替手段など（ジェスチャーや絵カードの利用などの非言語的コミュニケーション）の検討も行い、児童様それぞれに合った方法で気持ちを伝える手段の獲得を図っていきます。		
	人間関係 社会性	小集団活動を通して、人とのコミュニケーションの楽しさや興味を促していきます。また個別支援や自立支援課題にて人に対する意識や表情、感情の違いがあることの理解を促すような支援を行っていきます。お友達との距離感が近いご利用児童様には、パーソナルナルエリアに対する支援を実施していきます。		
家族支援		家庭や学校での困り感に関する情報やご相談内容を共有しながら、支援方法の統一を図ります。事業所内や、自宅でできた動作に対して汎化できるように支援を行います。保護者会に外部講師を招いて研修を行っていきます。	移行支援	長期支援を視野に入れ、ライフステージの切り替えを見据えた関わりを行うことで自立度の向上や役割の獲得を図っていきます。ADL→IADL、QOLの向上を図っていき、将来の活動の幅を広げていきます。
地域支援・地域連携		地域にある公共施設等を利用した外出活動等の実施や地域行事への参加をしていきます。	職員の質の向上	事業所内の勉強会の実施、情報共有の徹底、ケースミーティングの実施、症例検討会などにて職員の支援方法の標準化を図っていきます。
主な行事等		お正月、節分、進級パーティー、子どもの日、夏祭り、クリスマス会などの季節にあった行事を行っていきます。		